

## HPV 検診のリーフレット開発のための調査研究

### 1. 研究概要（目的・実施期間等）

先日厚生労働省は「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」において、子宮頸がん検診に HPV(ヒトパピローマウイルス)検査を追加しました。細胞診検査に変わって、HPV 検査による子宮頸がん検診を提供する自治体もこれから増えていくでしょう。そこで、当部は市民向けに HPV 検査にわかりやすく解説したリーフレット作成を行います。全検診対象者向けの HPV 検査を用いたがん検診の紹介リーフレットと HPV 検査陽性向けの精密検査の流れを説明するリーフレットを作成します。

具体的には、30 代女性を対象にインタビュー調査と同時にインターネット調査を行い、市民の HPV に関する認知や知識を調べて、リーフレット開発に役立てます。また、リーフレット完成後にもインターネット調査を行い、リーフレットの理解度やがん検診受診したいか確認して、リーフレットの効果を測定します。これらの調査を通じて、がん検診における市民への情報伝達のあり方を明らかにします。

研究全体の実施期間は、研究開始日(2024 年 3 月 30 日ごろ)から 2025 年 3 月 31 日までを予定しています。

### 2. 研究の対象

30 歳～59 歳の女性を調査対象(インタビュー調査では 30-39 歳)とします。この年代は子宮頸がん罹患が多く、HPV に関する基礎知識が少ない可能性があるため、とくに積極的に介入の必要性があると考えました。

### 3. 研究に用いる情報の種類

インタビュー調査：学歴、家族構成、妊娠出産歴、子宮頸がん検診受診歴、産婦人科受診歴、子宮頸がん(前がん病変を含む)の既往、HPV の認知と知識、HPV 検査に対する懸念、リーフレット案への意見など

インターネット調査：学歴、妊娠出産歴、子宮頸がん検診受診歴、産婦人科受診歴、子宮頸がん(前がん病変を含む)の既往、子宮頸がんに対する考え、HPV 検診のリーフレットの理解度、HPV 検診の受診意向、HPV 検査に対する懸念、HPV ワクチンの接種、子宮頸がんリスクに関連する生活習慣など

### 4. 問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、下記連絡先までお申出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、委託会社の窓口を通じてお申出ください。その場合でも回答者に不利益が生じることはありません。ただし、研究の進捗状況やデータの特性により、データを取り除くことができない場合があります。

#### 研究に関する照会先・連絡先（研究事務局）：

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部

担当者・研究責任者：細野 覚代

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号：03-3547-5201（内線 3312）

#### インタビュー調査業務委託先：

株式会社キャンサーズキャン

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-3-8 五反田 PLACE 2F

問合せ

<https://www.cancerscan.jp/contact/>

**インターネット調査業務委託先：**

株式会社マクロミル

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F

マクロミルモニタサポート窓口

<https://monitor.macromill.com/airs/exec/inquiryInputAction.do>